



技能実習適正化支援センター（TITSC）代表の渡邊です。

突然ですが、皆さんには好きな芸能人はいますか？最近では芸能人を応援するのに「推し」という言葉が使われるようです。「推し」の芸能人がどのように生活しているか好奇心のある人は多いと思います。芸能人の自宅のリビングやキッチンなどが TV で初めて紹介されると、「本邦初公開」とされ視聴者が増えます。自宅での生活は、その人の人生の大きな時間を占め、人間性が表れる場所だと思います。それゆえ芸能人の私生活を少し覗いてみたいと思うのだと思います。

生活の様子を知ることが、その人を理解することに繋がることは、技能実習生についても当てはまることだと思います。

■ 外国人労働者の生活を知ることの重要性

私は日頃から外国人のことについて知りたければ、その人がどのように暮らしているか知ることが大切と話しています。技能実習生について知りたければ、一度住んでいる場所を訪れてみることです。技能実習生の住環境は、一昔前はマンションの 1 室に二段ベッドを入れての共同生活が一般的でした。一部屋に人を詰め込み過ぎると精神衛生上の問題が生じるため、共有部分を除いて 1 人当たりの居住スペースは 4.5 m²（約 3 畳）以上とのガイドラインがあります（特定技能外国人の場合は、1 人当たり 7.5 m²以上（約 5 畳））。

現在、技能実習の住環境は多様化し、一人部屋の場合もあるし、一軒家を貸し切ったシェアハウスの場合もあります。会社が採用した異なる国籍の技能実習生が共同生活を日本語で送るといって、まさに国際交流を地で行っている面白い取り組みもあります。

シンガポールには、外国人労働者専用の巨大な宿泊施設があります。最大の「Tuas View Dormitory」には、約 1.5 万人の外国人労働者が生活しているというから驚きです。管理が厳しいシンガポールにおいて、コロナ時に、こうした施設が拠点となって感染が拡大したという経緯があります。日本にはこのような大規模な施設はなく、個別に部屋を提供するケースがほとんどです。ただし、技能実習生の住環境の手配には不動産投資の要素が含まれるという特徴があります。会社が用意した宿泊施設を寮として提供し、技能実習生の賃金から住居費を控除する方法で安定的な不動産経営を行っています。このことが過疎化する地方の空き家問題に貢献している部分もあります。

衣食住は、人間が生きていく上で欠かせないもの 3 つを指す言葉です。衣食住は、技能実習生の生活満足度に直結するため、住環境の整備は欠かすことができません。つまり、住環境を改善すれば、技能実習生の生活満足度を飛躍的に改善することができます。技能実習生にとって、Wi-Fi 環境の設置は重要です。他にも自転車、寝具、家具・家電、台所用品、掃除・日用品など改善できる点は多いです。技能実習がどのように生活しているか正確に把握し、工夫をすることは効果的な技能実習が行うための近道だと思います。

~~~~~

技能実習適正化支援センター（Technical Intern Training Support Center）

代表 渡邊 奉勝

〒248-0023 神奈川県鎌倉市極楽寺 1-6-29

TEL/FAX : 045-8787-290 携帯 : 090-4710-3790

E-mail : [info@titsc.org](mailto:info@titsc.org) URL : <http://www.titsc.org/>